

## Excel アドイン：郵便番号変換ウィザード

マイクロソフトで提供している郵便番号変換ウィザードを利用すると、郵便番号から住所へ、または住所から郵便番号へ一括変換することができます。

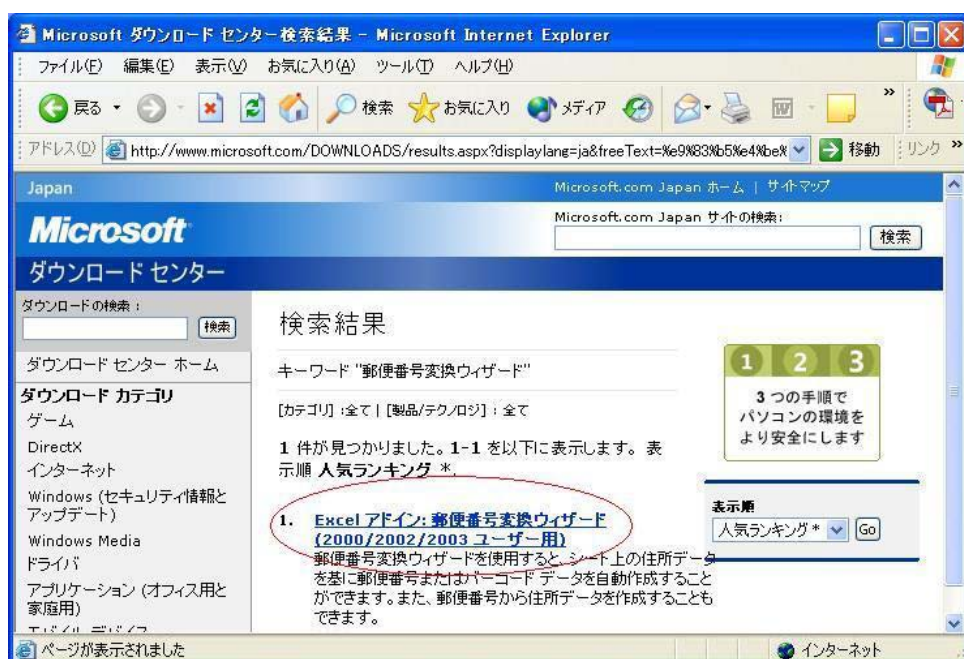
### 1. 郵便番号変換ウィザードのダウンロード

Microsoft ダウンロードセンター

<http://www.microsoft.com/downloads/search.aspx?langid=13&displaylang=ja>



ダウンロードの検索欄に「郵便番号変換ウィザード」と入力し「検索」をクリックします。  
「ウィザード (UIZA-DO)」ではなく、「ウィザード (WIZA-DO)」です。

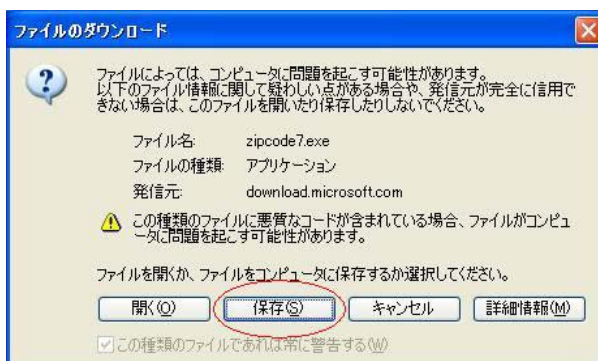


「Excel アドイン郵便番号変換ウィザード」をクリックします。

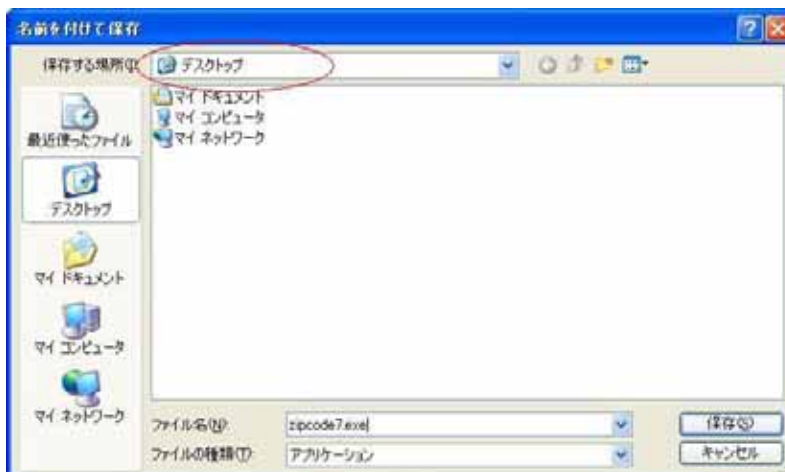


右側の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

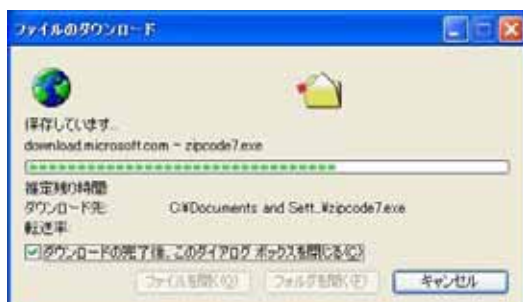
下のダイアログが表示されたら、「保存」をクリックします。



保存先を選択します。(ここでは「デスクトップ」としています)



「保存」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。



「ダウンロードの完了後、このダイアログボックスを閉じる」がチェックされていないときは、ダウンロード完了後「閉じる」ボタンでダイアログボックスを閉じます。



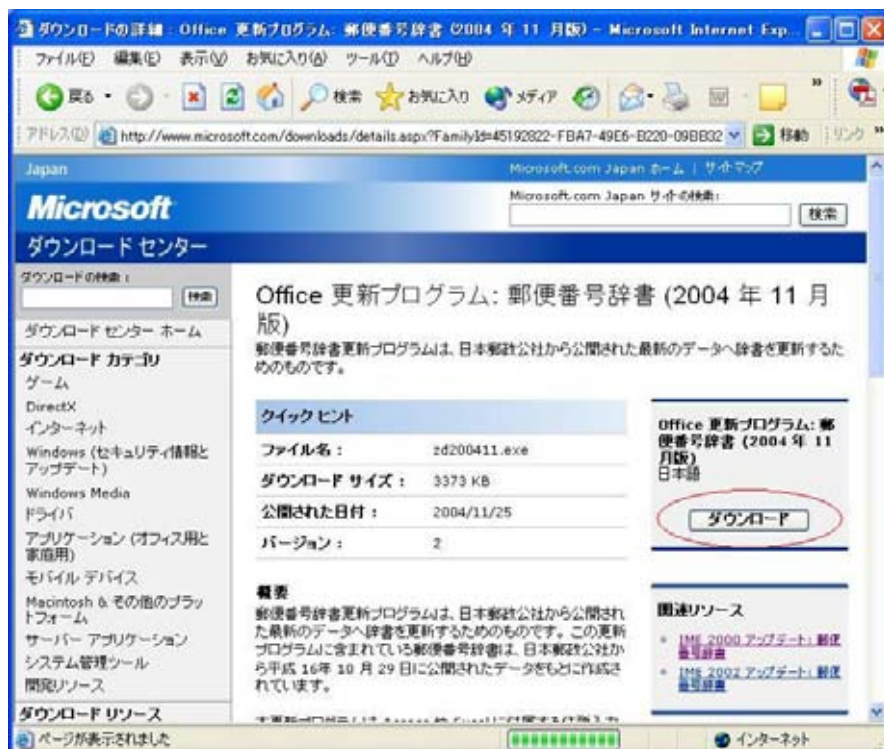
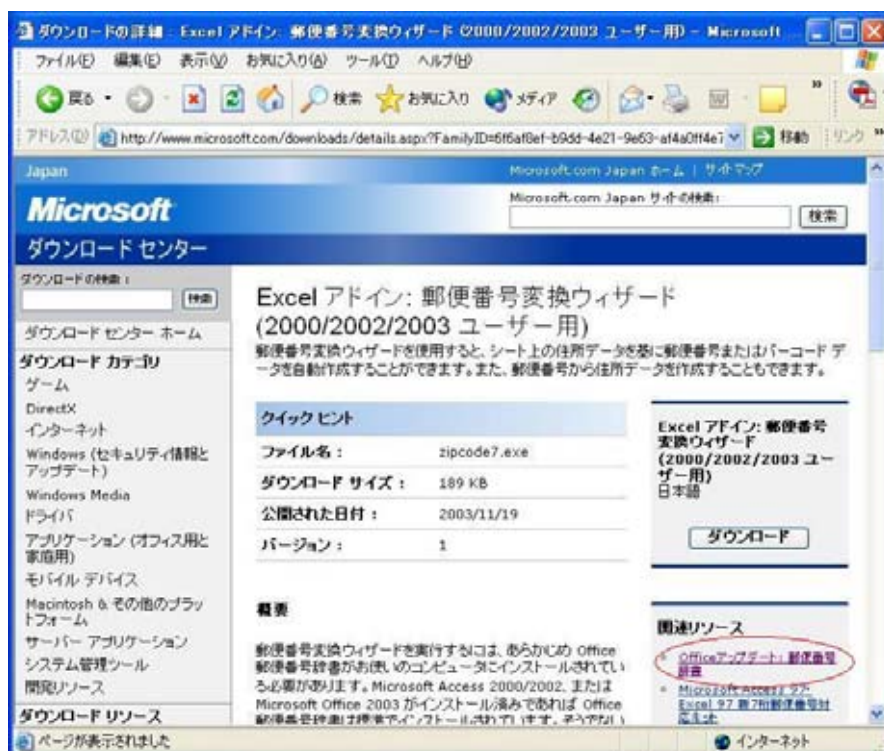
「戻る」ボタンで、郵便番号変換ウィザードのページに戻ります。

続いて、「Office アップデート：郵便番号辞書」をダウンロードします。

## 2 . Office 用郵便番号辞書のダウンロード

郵便番号変換ウィザードのページ右側、「関連リソース」から「Office アップデート：郵便番号辞書」をクリックします。





右側の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

「ファイルのダウンロード」のダイアログが表示されたら、「保存」をクリックします。



保存先を選択します。(ここでは「デスクトップ」としています)



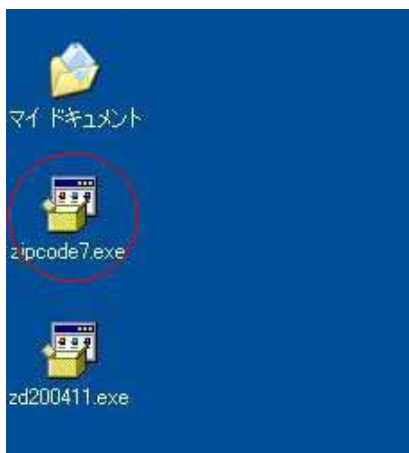
「保存」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。

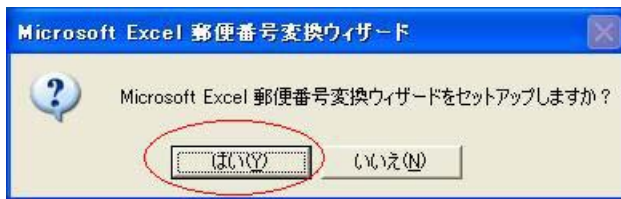
以降は、郵便番号変換ウィザードと同様です。

これで、デスクトップに2つのファイルがダウンロードされました。

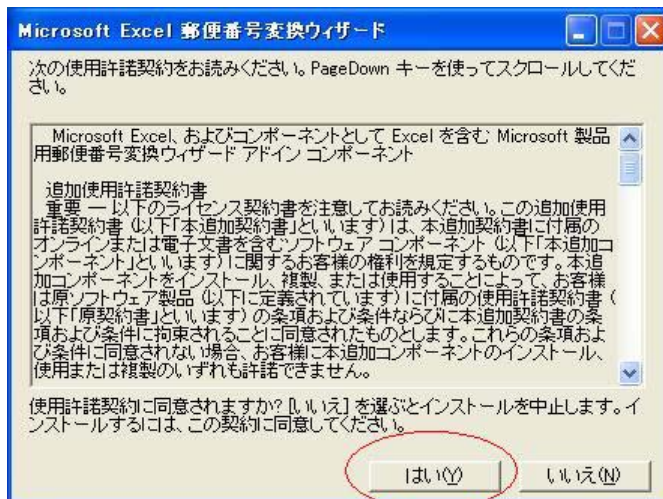
### 3. 郵便番号変換ウィザードのセットアップ

デスクトップの zipcode7 をダブルクリックして、セットアップを開始します。

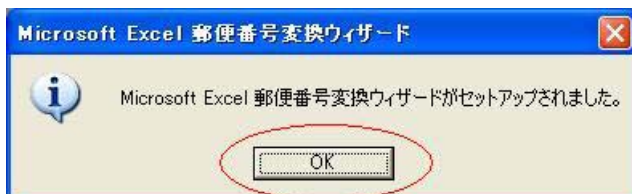




セットアップをするので、「はい」をクリックします。



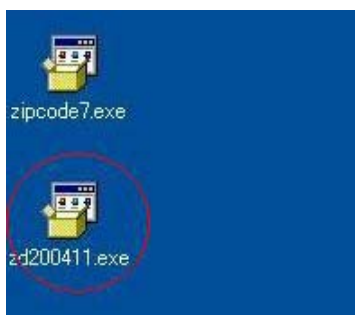
使用許諾契約を「はい」とするとセットアップが開始されます。  
「いいえ」にすると、セットアップされません。

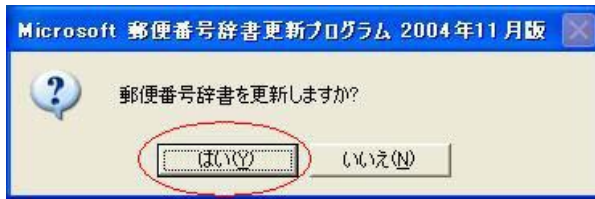


メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。  
これで Excel の郵便番号変換ウィザードがセットアップされました。

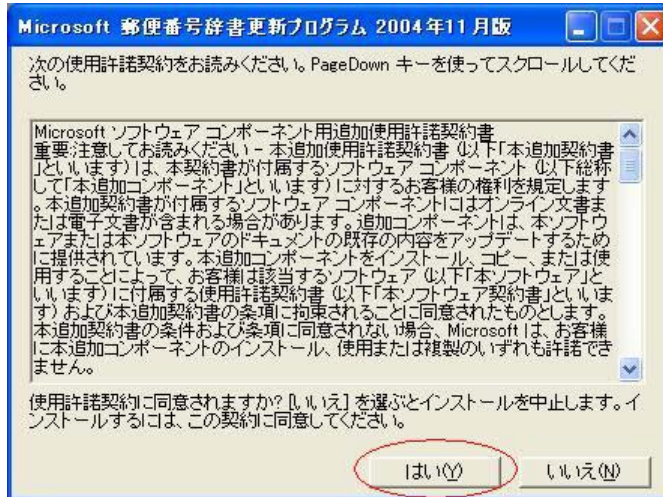
#### 4 . Office 用郵便番号辞書の更新

デスクトップの zd200411 をダブルクリックして郵便番号辞書の更新を開始します。

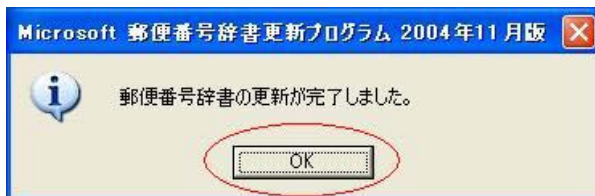




郵便番号辞書の更新をするので、「はい」をクリックします。



使用許諾契約を「はい」とするとセットアップが開始されます。



更新の完了メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

これで、Office 用郵便番号辞書の更新が完了しました。

この郵便番号辞書は、定期的に更新されていますので、使用する前に Microsoft ダウンロードセンターで確認してください。

ダウンロードの検索で、キーワード「office 郵便番号辞書」で検索ができます。

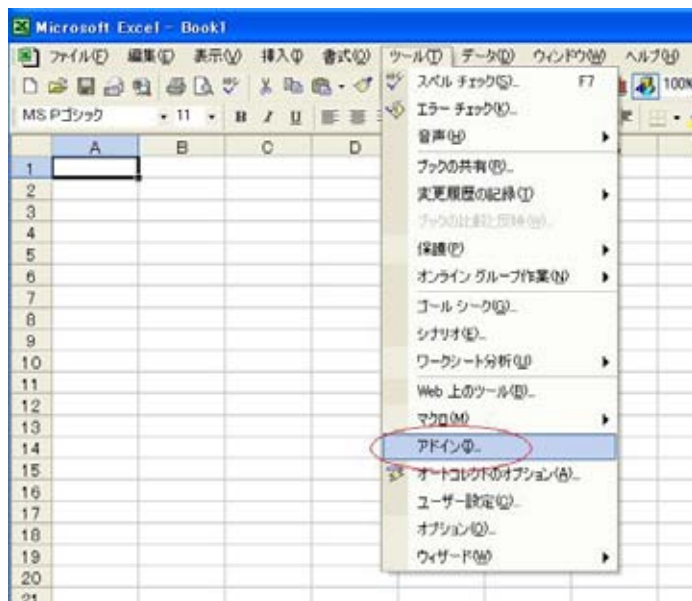
## 5 . Excel でアドインの登録

Excel でアドインが使えるようにします。

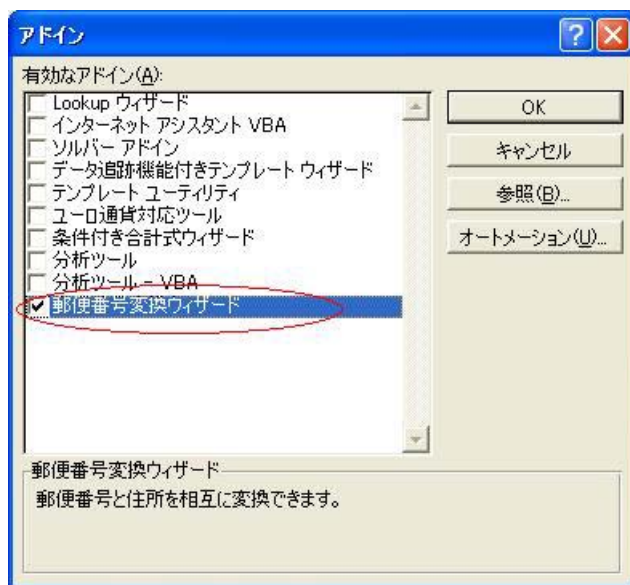
Excel を起動します。

メニューから、「ツール」 「アドイン」をクリックします。





「郵便番号変換ウィザード」をクリックして、チェックをつけます。



「OK」ボタンをクリックします。

これで、事前の準備は完了です。

## 6. 郵便番号変換ウィザードの使い方

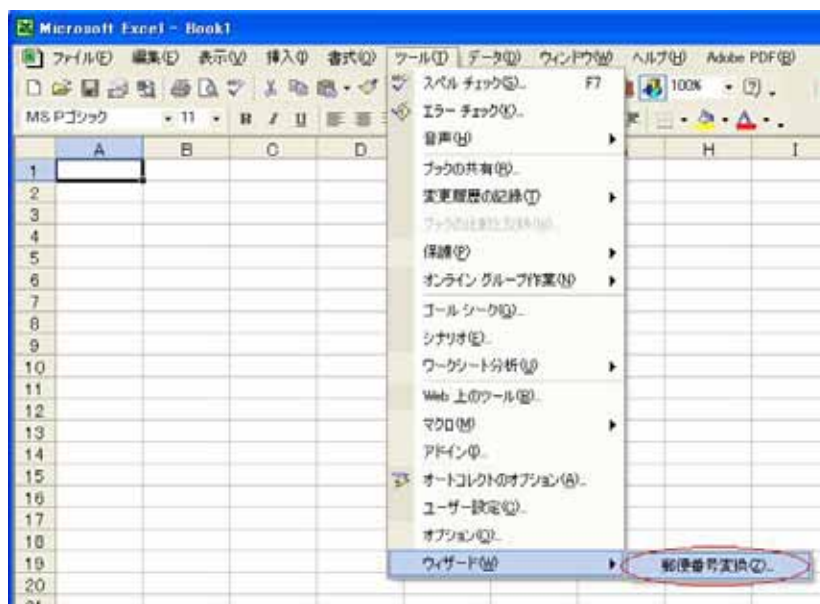
Excel を起動します。

郵便番号から住所を生成するときは「郵便番号」、住所から郵便番号を生成するときは「住所」を事前に入力しておきます。

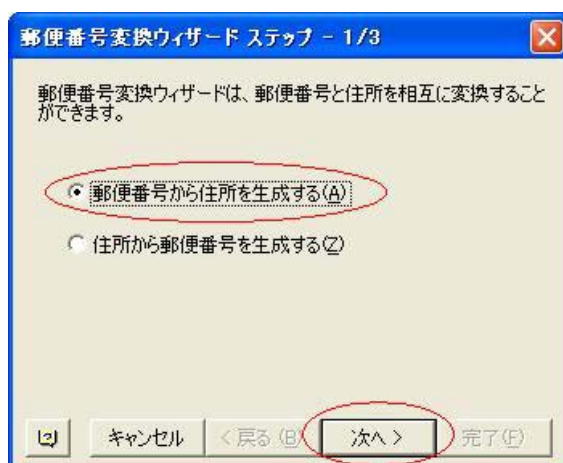
ここでは、郵便番号から住所への変換を行います。



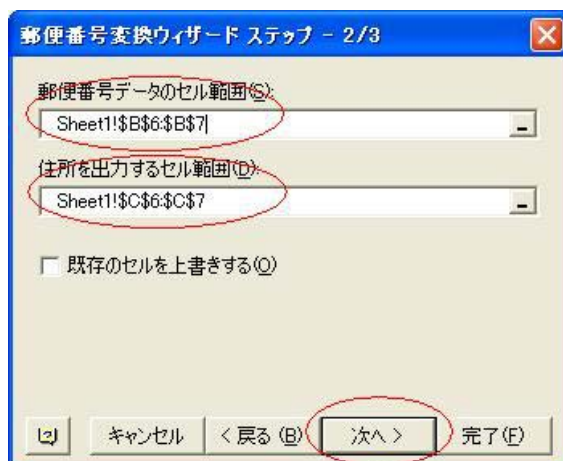
メニューから、「ツール」 「ウィザード」 「郵便番号変換」をクリックします。



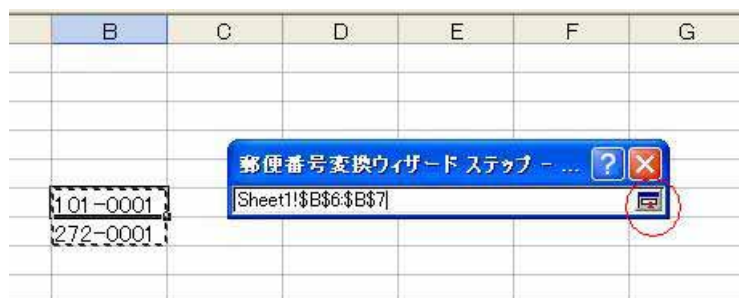
作成したい内容を選択し「次へ」をクリックします。



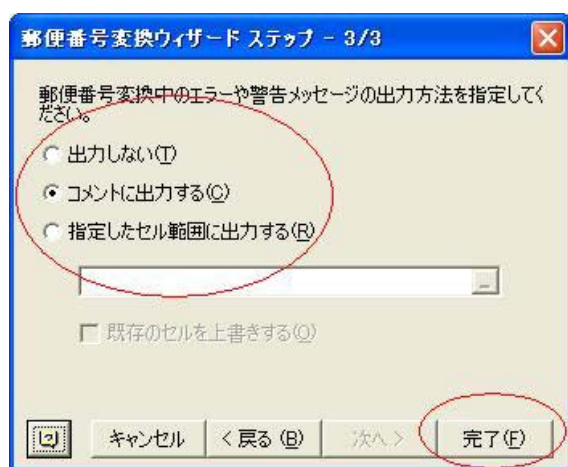
それぞれのセル範囲を入力し、「次へ」をクリックします。



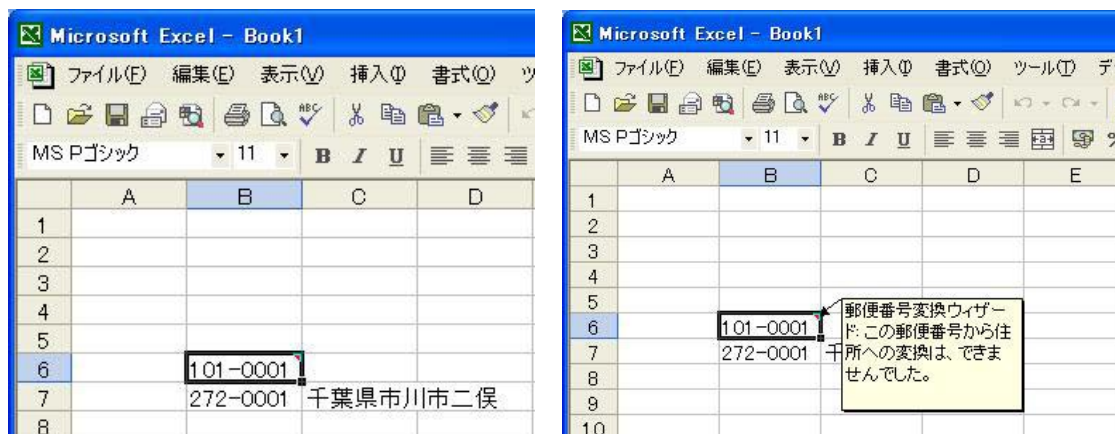
セル範囲は、ドラッグして入力することができます。また、「ダイアログボックス縮小」ボタンと「元に戻す」ボタンを使って入力することもできます。



エラー時の処理を選択して、「完了」をクリックします。



この例では、住所がC列に生成されました。



変換されなかったときは、コメントで理由が出力されます。

マウスポインタをコメントのあるセルに合わせると、コメントが表示されます。

住所から郵便番号を生成するときも、同様の手順で行うことができます。

以上